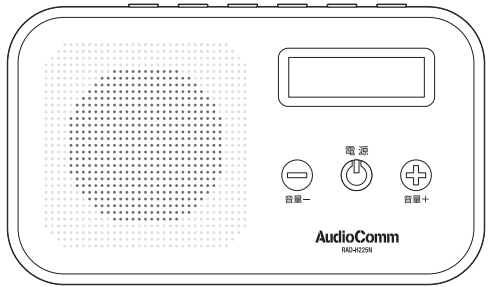


AudioComm® 取扱説明書

2バンドハンディラジオ

型番：RAD-H225N-W 品番：03-7055
RAD-H225N-K 03-7056



このたびは、AudioComm® 2バンドハンディラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

主な仕様

電源	DC4.5V 単4形乾電池×3本(別売) 外部電源:DC4.5V 300mA ⊖⊕ (ACアダプター別売;適合プラグ径/内径1.3mm 外径3.5mm)
受信周波数	AM:522~1710kHz FM:76~108MHz
スピーカー	口径50mm×1(8Ω)
乾電池持続時間	スピーカー時 AM受信:約16時間 FM受信:約18時間 イヤホン時 AM受信:約23時間 FM受信:約25時間
アンテナ	AM:フェライトバーアンテナ(内蔵) FM:ロッドアンテナ
接続端子	電源:DC IN端子 イヤホン:φ3.5mmステレオミニジャック
時計精度	月差±約60秒
外形寸法	幅125×高さ73×奥行29mm(突起物含まず)
質量	約165g(乾電池含まず)
付属品	保証書、取扱説明書

※乾電池持続時間は、アルカリ乾電池新品使用時(音量中程度)の目安です。使用状況により異なります。※外観、仕様は改善のため予告なく変更することがあります。※本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながる場合があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
-----------	--

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がかかるなどの異常を感知したら、すぐに乾電池を取り外す。**家庭用電源にて使用時はACアダプターを取り外す
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 - ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、内部に水や異物などがに入った場合は、すぐに使用を中止する**
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - ・販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 分解、修理、改造しない**
 - ・火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴り始めたら、安全のため本機に触れない**
 - ・感電するおそれがあります。
- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない**
 - ・交通事故の原因になります。
 - ・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
- 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない**
 - ・発熱、発火、故障の原因となります。
- 火の中に入れてない**
 - ・誤って火中に入れると、乾電池が発熱、破裂、発火するおそれがあります。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様か乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する**
 - ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

お手入れのしかた

お手入れを始める前に必ず電源を切ってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

ワイドFM(FM補完放送)について

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは**：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は**：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は**：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。
-----------	--

- 乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる**
 - ・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例：アルカリとマンガン)を一緒に使わない**
 - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 長時間、大音量で聴き続けない**
 - ・聴力障害などの原因となることがあります。
- 浴室、台所など湿気が多い場所や水飛沫のある場所では使わない**
 - ・感電や故障の原因となります。
- ぬれた手で操作しない**
 - ・故障や感電の原因となることがあります。
- 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない**
 - ・破損・故障の原因となります。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない**
 - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない。また、本機の上に重いものを載せない**
 - ・破損・故障の原因となります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない**
 - ・変形・変色の原因となります。
- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す**
 - ・火災・液もれの原因となることがあります。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- 乾電池使用時：乾電池は正しく装着されていますか(⊕⊖の向きは正しいですか)。乾電池が消耗していませんか。
- ACアダプター使用時：本機及び家庭用コンセントに端子が正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっていませんか。
- 電源は入っていますか。
- 正しく選局されていますか。
- イヤホン端子にイヤホンがつながれていませんか。
- 乾電池使用時：乾電池が消耗していませんか。
- イヤホン使用時：イヤホン端子にプラグが確実に接続されていますか(ゆるんでいませんか)。

雑音が多い/音が悪い

- 乾電池が消耗していませんか。
- 近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離してください)。
- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離して使用してください)。

オートスキャンで放送局が登録されない

- 電波状況は良好ですか。良くない時間帯や場所で行なうと、意図したとおりに登録されないことがあります。できるだけ電波状況が良い状態で再度お試しください。

アラームが鳴らない

- 現在の時刻及びアラームが起動する時刻を正しく設定しましたか。
- アラーム音源は正しく設定しましたか。また、音量設定が小さくなっていませんか。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

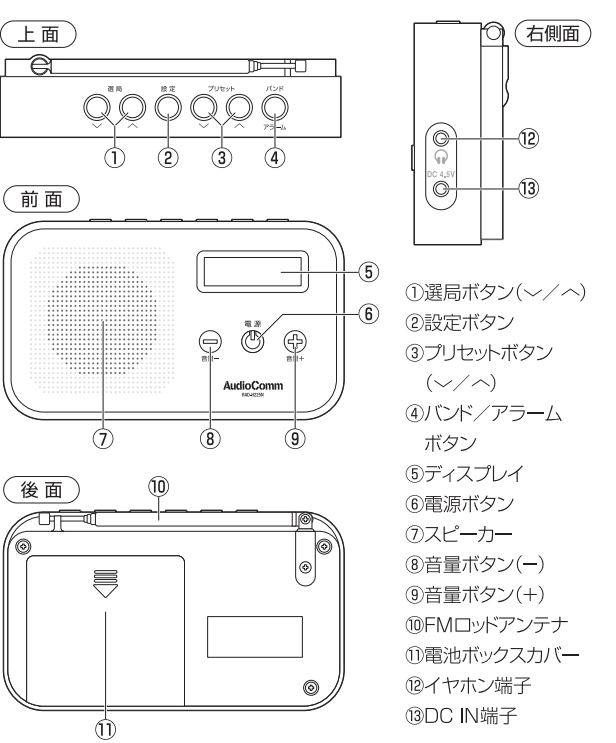
警告	<ul style="list-style-type: none">・火中への投入、加熱、分解をしない・取り外した乾電池を幼児に触らせない・ショートさせない・直射日光や火などの過度の熱にさらさない
注意	<ul style="list-style-type: none">・⊕⊖の表示どおりに入れる・指定以外の乾電池を入れない・使用推奨期限内の乾電池を使用する・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない・使い切った乾電池はすぐに取り出す・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にびりびりと痛みを感じる場合がありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に付けていただくことにより影響が軽減されます。

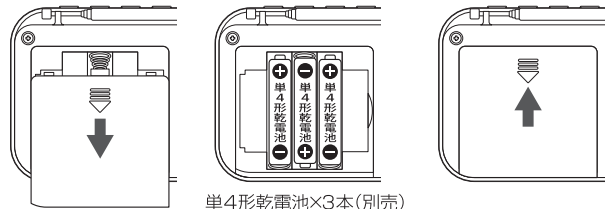
各部の名称



電源について

乾電池で使うとき

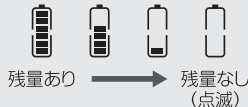
単4形乾電池×3本(別売)を、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れてください。入れ終わったら、電池ボックスカバーを確実に閉めてください。



- 1 蓋を押しながら下にスライドさせて電池ボックスカバーを取り外す
- 2 コイルパネのあるほう(⊖側)から先に入れる
- 3 電池ボックスカバーを確実に閉める

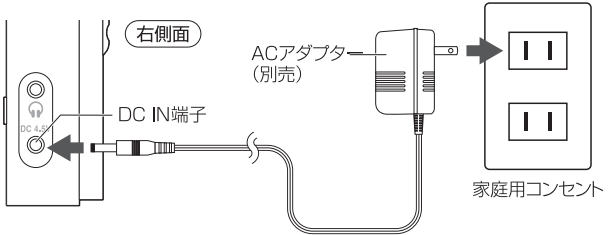
ヒントとご注意

●乾電池にて使用中の電池残量はディスプレイの電池残量マークで確認できます。少なくなったら早めに新しい乾電池と交換してください。



家庭用電源で使うとき

ACアダプター(別売)を使って、本機のDC IN端子と家庭用コンセントを接続します。乾電池が入っている場合でも、ACアダプター使用時は自動的に家庭用電源に切り換わります。



ご注意

- ACアダプターは、以下の規格のものをお使いください。
DC4.5V 300mA以上 ⊖⊕ トランス式
適合プラグ径：内径1.3mm 外径3.5mm
- スイッチング式ACアダプターは雑音が発生しますので、使わないでください。

電源のオン/オフ



電源ボタンを押すと電源の入/切ができます。

- 電源を入れたとき：ディスプレイに「HI」が一時的に表示された後、ラジオを受信します。
- 電源を切ったとき：「OFF」表示の後、時刻表示になります。

ヒント ディスプレイ表示について

- 電源が入っているとき：任意の操作後、何も操作しないと約10秒で時刻表示になり、さらに約50秒経つとディスプレイが暗くなります。任意のボタン操作をすると、ディスプレイが再び明るくなります。
- 電源を切った後：約30秒後にディスプレイ表示が暗くなり、さらに約30秒経つと、バックライトがオフになります。その間、設定ボタン、プリセットボタン(~/へ)、電源ボタン、バンド/アラームボタンのいずれかを押しすと、バックライトが点灯します(電源ボタンは電源オン動作、バンド/アラームボタンはアラーム入/切操作となります)。



時刻設定のしかた

- 1 電源が切れている状態で、設定ボタンを長押しします。
 - 「時」表示が点滅します。
 - 本機の時刻は24時間表示です。
 - 乾電池を入れた直後や、ディスプレイが非表示になっているときは、電源ボタンを一度押した後に、設定ボタンを長押ししてください。
- 2 プリセットボタン(~/へ)を押して「時」を選び、設定ボタンを押します。
 - 設定ボタンを押すと「分」表示が点滅します。
- 3 選局ボタン(~/へ)を押して「分」を選び、設定ボタンを押します。
 - 点滅が止まり、設定が確定します。



ご注意

- 何も操作しない時間が約15秒間続くと、それまでの設定で時刻が確定し、点滅が止まります。必要に応じて最初からやり直してください。
- 乾電池を取り外すと時刻がリセットされますので、設定し直してください。

ラジオを聴く

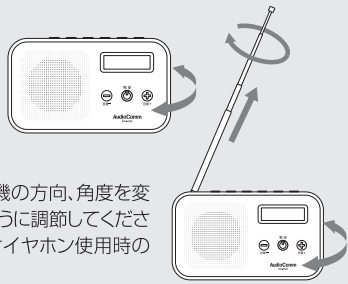
ディスプレイが時刻表示や暗い表示になった後などは、1回のボタン操作では動作しないことがあります。その時はもう一度同じボタンを押して、操作を続けてください。

- 1 電源ボタンを押して電源を入れます。
- 2 必要に応じてバンド/アラームを押し、バンドを選びます。
 - AM放送の表示例
 - FM放送の表示例
- 3 選局ボタン(~/へ)を押して周波数を合わせます。
 - AM放送は9kHzごと、FM放送は0.1MHzごとに進みます。
 - 長押しすると周波数が自動で送られ、最初に受信できた放送局で止まります。
- 4 音量ボタン(-/+)で音量を調節します。
 - 音量レベルは00~30の間で調節でき、約2秒間表示されます(初期設定は16)。電源を切ると初期設定の音量に戻ります。
 - 音量の上げすぎにご注意ください。
- 5 終了するときは、電源ボタンを押して電源を切ります。

受信状態を良くするには

- AM放送の場合
本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。
- FM放送の場合
FMロッドアンテナを伸ばし、本機の方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。FMステレオ放送はステレオイヤホン使用時のみ対応となります。

※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離れてご使用ください。
※持ち運ぶときは、目をついたりして危険ですので、FMロッドアンテナを縮めてください。



オートスキャン

お使いのエリア(場所)で受信可能な放送局を一括してプリセット登録します。AM放送は最大20局・FM放送は最大50局まで登録できます。

- 設定
- スキャンしたいバンドを選んだ後、設定ボタンを長押ししてください。
- 周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順にプリセット登録していきます。オートスキャン中に放送局が登録されると、一時的に放送を受信し、プリセット番号(P01、P02など)が表示されます。

登録した放送局を受信するには

- プリセット
- プリセットボタン(~/へ)を押して、プリセット番号を選んでください。
- 押すたびに登録されている番号が順に表示されますので、聴きたい放送局になったら押すのをやめます。プリセット番号は約3秒後に周波数表示に変わります。

ご注意

- オートスキャンを実行すると、手動で登録したプリセットも含めて、それまでの内容がすべてリセットされます。

手動プリセット登録

任意の放送局を手動でプリセット登録するときは、以下の手順で操作してください。

- 1 登録したい放送局を受信している状態で、設定ボタンを押します。
 - プリセット番号が点滅しますので、点滅している間に②の操作をしてください。
- 2 プリセットボタン(~/へ)を押して、登録したいプリセット番号を選び、設定ボタンを押します。

登録した放送局を受信するには

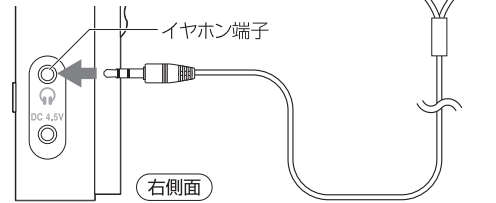
オートスキャンで登録した放送局を受信する場合と操作は同じです。

ご注意

- オートスキャンで登録済みの番号を手動登録時に選ぶと、プリセット内容が上書きされます。また、手動プリセット登録後、オートスキャンを実行すると、それまでの内容がすべてリセットされます。
- 登録済みプリセット番号から離れた番号に登録すると、その間の番号にも受信できない周波数が割り当てられます。できるだけ既存プリセット番号の次から順番に登録していくことをおすすめします。

イヤホンで聴くときは

- ステレオイヤホン(別売)のφ3.5mmステレオミニプラグを、イヤホン端子に差し込んでください。
- 本機のイヤホン端子はステレオ対応です。FMステレオ放送の場合はステレオ音声を楽しめます。
- イヤホンを接続すると、スピーカーからの音は聞こえなくなります。



アラーム

本機では、電子音またはラジオ放送のいずれかをアラーム音に設定できます。ラジオ放送の場合は、あらかじめご希望の放送局を受信したうえで電源を切り、以下の操作をしてください。アラーム設定後に電源を入れて放送局を変更すると、変更後の放送局で起動しますのでご注意ください。

- 1 電源が切れている状態で、バンド/アラームボタンを長押しします。
 - アラームマーク(☼)と「時」表示が点滅します。
- 2 プリセットボタン(~/へ)を押して、設定したい「時」を選び、バンド/アラームボタンを押します。
 - バンド/アラームボタンを押すと「分」表示が点滅します。
- 3 プリセットボタン(~/へ)を押して、設定したい「分」を選び、バンド/アラームボタンを押します。
 - バンド/アラームボタンを押すと音源設定の表示に変わります。
- 4 プリセットボタン(~/へ)を押して、設定したいアラーム音を選び、バンド/アラームボタンを押します。
 - 「bUZ」：電子音 「rAd」：ラジオ
 - 電子音を選んだ場合は、この段階で設定が完了し、現在の時刻表示に戻ります(音量設定はできません)。
 - ラジオを選んだ場合は、バンド/アラームボタンを押すと音量設定の表示に変わります(ステップ⑤に進んでください)。
- 5 [ラジオ設定時のみ] プリセットボタン(~/へ)を押して、設定したい音量を選び、バンド/アラームボタンを押します。
 - 音量レベル5~25(5段階刻み)で設定できます。
 - バンド/アラームボタンを押すと、アラームマークの点滅が点灯に変わり、設定がすべて確定します(現在の時刻表示に戻ります)。
 - アラーム機能が有効なときは、アラームマークが表示されます。

ヒントとご注意

アラーム設定時：

- 何も操作しない時間が約15秒間続くと、それまでの内容で設定が確定します。操作途中で終了した場合でもアラームマークが表示され、起動時刻になるとアラームが起動しますので、必要に応じて最初からやり直してください。
- アラームを解除するには、電源が切れているときにバンド/アラームボタンを押して、アラームマークを消してください。
- 前回と同じ設定でアラームを起動させたいときは、バンド/アラームボタンを押して、アラームマークを表示させるだけで設定が完了します(一時的に設定時刻が表示されます)。

アラームが鳴ったら：

- アラーム音としてラジオを設定しているときは、設定音量まで徐々に大きくなります(電子音の場合は一定です)。
- アラームを止めるには、電源ボタンを押してください。アラーム音をラジオで設定した場合は、音量ボタンでも止めることができます。
- 本機上面のいずれかのボタンを押すとスヌーズとなり、一時的に音は消えますが、約9分後に再び起動します(ラジオの場合は一時的に「OFF」と表示された後、スヌーズになります。スヌーズ中はアラームマークが点滅します)。スヌーズ中にアラームを止めるときは、電源ボタンを押します。
- 電源ボタンでアラームを止めた場合でも、そのままでは翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。アラームを鳴らないようにするには、バンド/アラームボタンを押してアラームマークを消してください。